
インフィニットストラトス コードZERO

東光一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インフィニットストラトス コードZERO

【Zコード】

Z0438Z

【作者名】

東光一

【あらすじ】

IS学園の地下三十階。核シェルターの奥で、その少年は眠っていた。

あるはずのないISコア。未知の武装。宇宙で発見された、宇宙最初のISを扱う男。蒼空零人。

彼が目覚めたとき、宇宙外生命体が「う」めきだし、世界は新たな局面を迎える！

「やれやれ・・・いやまだ眠いぞ、おい」

オリジナル主人公でのハーレム作品。クラスメイト全員俺の嫁！た

だし一夏、オメーはだめだ！
なにかほかのSF作品まどマギとかのクロスオーバーも途中でやるかも。。。。

(前書き)

まだまだ最初なんで応援よろしくーーー！

ある朝俺は目ざめた。

いや、正しくは朝じゃない。まぶしいからそう思つただけだ。

おれは真っ白い光に照らされた、白い部屋のなかにいたのだ。

「うーは、じーだ」

おれがやつづぶやくと、突然どこから声がした。

「おはよう、ナンバー・ゼロ。気分はどうかね

「じーだつてこつてんだらが」

「じーひやー、まだ話す気はないらしいな・・・」

そういうと、俺は自分の身体になにか痛みが駆け抜けたのをわかつた。

ぐあああああああああああああーーーーーーーー

思わず叫び声を上げる。電流。すごい高圧の電気が、全身に流されたのだ。誰のせいか。

「我々としては、君が誰か理解しなければ、君を外に出すことまできないのでよ」

セヒでおれは気づいた。自分の両手両足が、硬いワッカみたいなのに拘束されているのを。

必死に動かそうとするが、うんともすんとも言わない。

「・・・るか

「うん? なんだって?」

「知るかボケええええええええええええ! -! -! -!

再び稻妻が俺の全身をはしる。遺体。超痛い。

しかしこれは、本当だった。俺が誰なのか。俺は本当に分からなかつたのだ。

それで電流を遣られるとか、むかつくなきまつてんだらうがぼけ!

「やれやれ。では、これに、見覚えはないか。」

そういうと、突然俺の眼の前に四角い画面が現れた。サングラスの男が立っている。どっさり噛みついつけしたが、頭突きもできなかつた。

「やれやれ。君は本当に人間か?」画面の中で男は、にやにやしている。俺は睡をはきかける。画面についた。

「ぞまーみる。」

しかし、寝はまもなく俺の顔の上に折ってきた。ぬああああああああ
あ！！

「やれやれ。まあいい。最後のチャンスだ。これを見ろ。」

汚い画面を見る。おとこは手に、なにか棒のようなものを持っていた。

「海の底に沈んでいたんだ。これが何か、お前なら分かるんじゃないか。」

それをみて、俺の胸の奥の何かが動いた。身体は動かないのし、記憶はない。けれどもそれがなにか、おれに言おうとしていた。

おれはそのままじつと見ていた。 その棒を。 それがなんなのかわからぬ。 けど。

いや。俺の鼓動が熱く燃える。

「おい。あんたさ。今一体どこにいるんだ。後で殴らせろ」

「悪いが、君のいる場所からは遠いよ。なぐりたければ——」

「ウソだな」

俺はにやつと笑う。そして、俺は困惑する男をよそに、その言葉を叫ぶ。

「来い！…青龍神劍！」
シャン・フレイド

瞬間、眼の前の画面にノイズになる。そして俺の直ぐ近く すぐ隣の部屋で、すごい音がする。

そして間もなく、おれが伸ばした手の先に、壁を突き抜けてそいつがくる。

俺の剣が。

そうだ。俺の剣だ。それだけはわかる。それ以外はわからん。

俺は見事に手首だけ動かして体中の機械をぶつた切る。

肩とか身体をぽきぽき言わせながら、立ち上がる。そして見つめるのは、ぶち明けた壁に向ひて。

サングラスの男が、仰天とした顔でこちらをのぞいていた。

だから俺は言ってやつた。

「よつ。大人しくぶんぬぐられるか、こいつで叩つ切られるか。ど
つちがいい？」

この日。俺は目ざめたんだ。俺の朝だった——

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0438z/>

インフィニットストラトス コードZERO

2011年12月1日19時57分発行